

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2023年度)

専門分野区分	ネットワーク	科目名	ネットワークサーバ構築					科目コード	T1421B1	
配当期	前期	授業実施形態	通常					単位数	4 単位	
担当教員名	岡田 一郎	履修グループ	2B(JN/KN/SN)					授業方法	演習	
実務経験の内容	ネットワークサーバエンジニア、アプリケーションプログラマとして1年勤務した後、フリーランスとして20年、中小企業向けに業務用アプリケーションの開発、メンテナンスを請け負ってきた。									
学習一般目標	各種サーバは、オープンソースのOSであるLinuxを利用して構築されていることが多く、この授業では、サーバ構築や運用管理の現場で行われているように、Linuxのコマンドを使って、ファイルやディレクトリの操作や基本的なシステム管理ができることを第1の目標とする。次に、各種サーバの役割としくみを理解した上で、簡単な設定ができることを目標とする。									
授業の概要および学習上の助言	コマンドは、実際に入力して実行してみないと覚えることはできない。サーバも、自分で設定して動かすことによって機能をより深く理解することができる。したがって授業に100%出席し、実習課題に真摯に取り組むことが望ましい。									
教科書および参考書	教科書：河原木忠司(著)『基礎からしっかり学ぶ Linux入門』(2022 株式会社技術評論社) その他参考資料：参考文献やWebサイト・WEBコンテンツを適宜紹介します。									
履修に必要な予備知識や技能	特にありませんが「自作PCをしてみたい」等の、「ハードウェア + OS」に興味を持った状態で受講する事が望ましく、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークの基礎知識があれば尚良い。									
使用機器	学生持ち込みノートPC									
使用ソフト	Linuxのディストリビューション：Ubuntu 22.04 仮想環境：Oracle VM Virtual Box Windowsで動くクライアントソフト：TeraTerm									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1/2	Linuxの特徴や用途を知り、カーネルやシェルの役割を説明することができる								
	1/4	各種サーバの役割・仕組みを理解し、簡単な設定と動作確認ができる。								
	1/4	ネットワークせゅりていーの必要性と基礎技術を説明できる。								
	2	授業に積極的に参加(出席・発言・質問)し、意欲をもってLinux操作の実習に取り組むことができる。								
	5	情報通信技術者として、専門的知識・技術を修得するために、自ら継続的に学習し、キャリアを形成できる。								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解		15		10				25
		2.思考・判断			30					30
		3.態度							10	10
		4.技能・表現			5		10			15
		5.関心・意欲							20	20
	総合評価割合			20	30	20			30	100
評価の要点										
評価方法		評価の実施方法と注意点								

試験	定期試験は実施しません。
小テスト	期間中に小テストを複数回実施する事もあります。
レポート	原則授業後のレポート提出とし、平常の授業姿勢(授業態度・出席)とを併せて総合的な評価判断となります。
成果発表(口頭・実技)	毎回の実習課題(Linuxの操作課題、提出物)の到達度を評価します。
作品	記載条項はありません。
ポートフォリオ	記載条項はありません。
その他	※ 授業の出席状況、実習の取り組み態度から総合的に判断します。

### 授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	ガイダンス 実習環境の説明 TeraTermの使用方法 コマンド操作方法 など Linuxについて知る OSの役割 Linuxの特徴・歴史 ディストリビューション	講義・実習	質疑とレポートを逐次課す
第2回	Linuxをインストールする ubuntuのインストール作業と基本設定・動作確認 基本操作をマスターする ログイン・ログアウト、シャットダウン	講義・実習	質疑とレポートを逐次課す
第3回	基本操作をマスターする コマンドとは？ コマンド操作の基礎 ディレクトリ構造 絶対パス・相対パス cdコマンド lsコマンド	講義・実習	質疑とレポートを逐次課す
第4回	基本操作をマスターする ファイルやディレクトリのパーミッション(chmodコマンド) ファイルやディレクトリの操作(cp,mv,rm,nkdirコマンドなど)	講義・実習	質疑とレポートを逐次課す
第5回	基本操作をマスターする ファイルやディレクトリの操作の演習 シンボリックリンク(lnコマンド) シェルの機能(コマンドの履歴、補完、特殊記号) シェルの役割、標準入出力とリダイレクト・パイプ シェル変数・環境変数 シェルの設定ファイル alias	講義・実習	質疑とレポートを逐次課す
第6回	基本操作をマスターする viエディタ emacsエディタ シェルスクリプトの作成	講義・実習	質疑とレポートを逐次課す

第7回	Linuxを準備する ユーザー登録 パスワードの設定 ユーザーとグループ パーミッション chownコマンド 外部メディアのマウント・アンマウント	講義・実習	質疑とレポートを逐次課す
第8回	TCP/IPの復習とネットワーク関連の設定ファイル及びコマンド ネットワーク情報等を確認するコマンド /etc/resolv.conf ファイルなど	講義・実習	質疑とレポートを逐次課す
第9回	サーバを準備する デーモン プロセス サービス systemctlコマンド Linuxをリモート操作する telnetによるリモートログイン sshによるリモートログイン・コピー Webサーバを作る httpdパッケージのインストール、動作確認	講義・実習	質疑とレポートを逐次課す
第10回	サーバを準備する(p.235,p.237,173) ・デーモン、プロセス、サービス ・systemctlコマンド Linuxをリモート操作する (p.78) ・Telnetによるリモートログイン ・SSHによるリモートログイン・コピー ・sshコマンド、scpコマンド ・TeraTermとWinSCPの操作	講義・実習	質疑とレポートを逐次課す
第11回	Linuxをリモート操作する ・SSHの暗号化のしくみ(ホスト認証) ・SSHの公開鍵認証 ・Webサーバを作る ・httpdパッケージのインストール、動作確認	講義・実習	質疑とレポートを逐次課す
第12回	Webサーバを作る HTTPプロトコル、Apacheの基本設定 ユーザーのホームディレクトリの公開 AliasとRedirect CGIの実行 ベーシック認証(ID、パスワードによる認証)	講義・実習	質疑とレポートを逐次課す
第13回	その他の役割のサーバを知る Linuxを保守する システムログを読み解く	講義・実習	質疑とレポートを逐次課す
第14回	課題解決型授業1 5月16日に公開し、期限は5月31日です	遠隔授業 実施時期:1期	別途掲示します
第15回	課題解決型授業2 6月16日に公開します	遠隔授業 実施時期:3期	別途掲示します